練習1 世界の姿と時差の練習

サマータイムは考えないものとする。

(1) 1年中厚い氷におおわれている大陸を何というか。

答

(2) ヨーロッパ・アフリカと、南北アメリカの間にある海洋を何というか。

答

(3) 6つの州のうち、オーストラリアやニュージーランドなどからなる州を何というか。

答

(4) 世界の国の数として最も近いものを、次のア〜エから一つ選びなさい。
ア 約50　イ 約100　ウ 約190　エ 約500

答

(5) イタリアのローマ市内にある、世界で最も面積が小さい国はどこか。

答

(6) アフリカ州の国境に多い直線の国境は、何を利用して引かれたものか。

答

(7) ロンドンを通る経線を0度として、東西をそれぞれ180度に分けたものを何というか。

答

(8) 東京（東経135度が基準）が正午のとき、カイロ（東経30度が基準）は何時か。午前・午後をつけて答えなさい。

答

(9) 東京（東経135度が基準）が1月1日午前0時のとき、ロンドン（経度0度が基準）は何月何日の何時か。

答

(10) ほぼ180度の経線にそった線を東から西へこえるとき、日付をどうするか。
ア 1日進める　イ 1日おくらせる
ウ 2日進める　エ 変えない

答

練習2 考えてみよう

(1) 東京（東経135度が基準）が1月15日午後8時のとき、ニューヨーク（西経75度が基準）は何月何日の何時か。午前・午後をつけて答えなさい。

答

(2) 経度15度ごとに1時間の時差ができるのはなぜか。「24時間」「360度」の語を使って書きなさい。

解答（答えと短い解き方）

時差 基礎② 時差の計算と世界の姿の練習

練習1　世界の姿と時差の練習

(1)　南極大陸

南極点をふくむ大陸。どの国の領土にもなっていない。

(2)　大西洋

三大洋の中で2番目に大きい。

(3)　オセアニア州

オーストラリア・ニュージーランドや太平洋の島々の国がふくまれる。

(4)　ウ

世界には190余りの国がある。

(5)　バチカン市国

面積は約0.44km²。最も大きい国はロシア（約1710万km²）。

(6)　緯線や経線

ヨーロッパの国々が植民地として分けたときに引かれた。

(7)　経度

東が東経、西が西経。緯度は赤道を0度として南北を90度ずつに分ける。

(8)　午前5時

経度の差は105度で、105÷15＝7時間。カイロは西にあるので7時間もどす。

(9)　12月31日午後3時

時差は9時間。1月1日午前0時の9時間前なので、日付が1日もどる。

(10)　ア

日付変更線を西から東へこえるときは1日おくらせる。

練習2　考えてみよう

(1)　1月15日午前6時

経度の差は 135＋75＝210度で、時差は14時間。ニューヨークは西にあるので、午後8時の14時間前で午前6時。

(2)　地球は24時間で360度回転するので、1時間に15度回転するから。

360÷24＝15。「24時間で360度回る」ことにふれていればよい。